

CCJ News

発行元：ケアコミュニティジャパン



—CCJ ニュースの目的—

CCJの活動に賛同して下さる方々へ、
月一回無料でお届けしています。

CCJニュースは皆様との架け橋です。
私達の活動のアップデートをお伝えし
たり、皆様からのご意見・ご質問も載せ、
皆で情報を共有できる場です。

第四回 FBG勉強会 開催後のご報告



CCJ Face Book Group



四月二十七日(水)
午後8時から
参加者三十四名

ご参加いただきました皆様有難うございま
した。ご感想などフィードバックを頂戴で
きましたら有難く存じます。また今回は参
加できませんでしたが、勉強会の内容の要
点のみですが下記のようにご案内申し上げ
ます。

今回の勉強会は日本と英国の看護師の資格
をお持ちでお仕事の経験をお持ちの伊佐奈
津子さんにお話しいただきました。伊佐さ
んは英国のケアホーム、Community
Intermediate Care Centre へ Deputy
Ward Managerとして現場を見ておられま
す。

私たちはケアホームがどのような運営を
されているか、分かっているつもりでもし
れませんが、実際には縁がなければあまり
訪れるところではありませんので、知らな
いことばかりだと思えます。限られた時間
内で伊佐さんがCCJの勉強会の為に何を
話しようかと考えていただいたその内容
が下記の流れで各項目でお気づきになっ
たところをお話しいただきました。

ホイストと言う圧迫感のある介護補助器具
を使っているのを見て、ガイドラインの違
いに驚いたところから始まり、イギリスの
ヘルスケアアシスタントという職種と日本
の介護士の違いについては、教育の違いを

超えて個々のスタッフの質がケアの質に直
接大きな影響を与えることは、世界共通で
あること。

栄養管理については、日本の食文化をうま
く取り入れ、且つイギリスでのケアホーム
の監査にかなったものを提供していくこと
への挑戦。また、参加者の方からは、さら
にそのサービスを、地方のケアホームに住
む方のデリバリーサービスにまで発展がで
きるかなどのアイディアも上がりました。

緩和ケアにおいては、命の最後を迎える姿
勢の違いを日本とイギリスの、医療看護現
場で働いてきた伊佐さんならではの観点か
らお話しして頂きました。日本の医療現場
では、延命的な医療姿勢に対してイギリス
のケアホームでの看護は、命に対し自然に
向き合っていると感じられたこと、それが
両極端とも感じることもあったけれど、緩
和ケアの真髓が明確になってきた。また、
イギリスは緩和ケアの本人への告知が早い
こと、本人の希望が尊重されるというこ
ろが英国で働かれて気づいたこととして
のお話もありました。

認知症は物事の認識能力が低下というこ
になるが、記憶が薄れている中であっても
小さなころ唄った懐かしい歌を歌うセッ
ションがあり、歌を唄う入居者は心がゆす
ぶられ、感情につき動かされ涙を流す方も多
い。
歌を唄うという効果の大きなことがあるこ
とを話していただきました。



んっ!? ケアホームで働く看護師が見てきたもの



★プロフィール：伊佐奈津子さん★

2001年に看護師、2003年に保健師資格取得後、日本の中規模病院の循環器、呼吸器、消化器内科、眼科の混合病棟に勤める。2008年に渡英後、2010年からケアホームに勤務を経て、2022年1月よりNHS、Community Intermediate Care Centreへ転職。現在 Deputy Ward Manager。コロナの渦中、現代ホスピスの母とも言われる Dame Cicely Saundersの『You matter because you are you, and you matter to the last moment of your life. We will do all we can, not only to help you die peacefully, but also to live until you die.』に唐突に出会い、これまで自分がケアホームで働く看護師として主軸に置いてきたことが不意に言語化される。

一方で、伊佐さんは、私はこのような英国の歌を唄っても同じように感情が突き動かさることはあるだろうか？ある程度成長して学んだ事柄、歌であるとか言語は子供の頃、自然に吸収した事柄とは違って感情のひだには残っていないようです。ここに日本人が入居できるケアホームが必要とされる原点があるのかもしれない。最後に日本には日本のケアシステム、英国には英国のシステムがあり、それぞれが互いに学んだらいいところを持ち合わせているのでは、CCJの取り組みが具体化した時は、2つのシステム融合が考えられ、新しいケアホーム誕生もあるのでは、というところで勉強会が終了しました。



FB グループ勉強会

日時：5月23日（月）午後8時～

場所：ズーム

課題：ケアホーム設立プロジェクトのプロシユア

参加費：無料

CCJ (Care Community Japan) が目指しているケアホームプロジェクトの広報を英国在住の全ての日本人皆様にとって頂く為に、現在、ケアホーム設立プロジェクトのプロシユアを作成中です。

原稿の段階ですが、ズーム画面上で共有し、お気づきになった点、改善点などを皆様からお聞かせ頂き、多くの方々から共感頂けるプロシユアを作成したいと思っています。

この勉強会に参加することでCCJのプロジェクトの内容を再度ご確認いただける良い機会だと思います。

参加申し込み：詳細は近日中にCCJにご登録の皆様にお送りいたします。この日を是非ダイアリーにノートしていただき、五月にお会いできますこと楽しみにしています。

(担当：飯塚)

CCJの今後の予定

- チャリティステータス申請（準備中）
- プロシユア作成（作成中）
- タスクフォースメンバー（設立）
- 英国のケアホームの見学（準備中）
- 会員登録（準備中）
- サポーターズ（ボランティア要員）募集
- ウェブサイト移行（移行中）
- FBグループ勉強会（今年1月から開始）
- 理事会月1回
- サポーターズとのミーティング

CCJの活動にご質問・ご意見がございましたら、メールでお声をお送りください。メールアドレスはニュースレターの最後に掲載しています。

CCJウェブサイトはお休み中

ウェブサイト移行手続き中の為、お問合せ、ボランティア希望、ニュースレターのお申込み機能は休止しています。

編集者だより

CCJニュース第8号をお読み頂きありがとうございます！
5月5日はこどもの日。
表紙に青空を泳ぐ鯉のぼりを載せました。

今月号はFB勉強会の報告を中心にお送りしました。ニュースレターへのご感想、ご意見、載せて欲しい事など、ありましたらぜひご連絡下さい。



CCJ News

発行日：2022年4月

発行元：Care Community Japan
c/o 80 Cheapside, London, EC2V 6EE

CCJのニュースレターは過去CCJのイベント等に参加された際、メールアドレスを頂いた方全員へ配信しています。

ご友人などニュースレター配信をご希望の方は下記までご連絡下さい。

carecommunityjapan@gmail.com

★ニュースレター&ウェブサイト担当：

Chiharu Oakley

★FBグループ勉強会への問合せ

担当：Mina K Allen